

2021年12月9日(木)

クリスマスの集い

本校で大事にしている宗教行事であるクリスマスの集いが、4年生主催で講堂で行われました。クリスマスに幼子としてお生まれになるイエス様をお迎えできるように、子ども達は1か月間目標を決めて、「実行」に取り組みました。



集いの始まりと終わりは、
4年生がハンドベルで
「しずけき」を演奏しました。

劇『羊飼いたちのクリスマス～主の平和の道具となりますように～』



皇帝アウグストゥスから、故郷の町へ帰り住民登録をするように命令が伝えられます。身重なマリアとヨセフも他の村人たちと同じように戸惑ってしまいます。



ベツレヘムに帰る途中で、マリアとヨセフは宿屋に立ち寄りました。しかし、空いている部屋はなく、ロバの小屋であれば空いていると案内されます。



ベツレヘムの町の外では、羊飼いの老人と男の子が羊の番をしています。



救い主イエス様がお生まれになったことを羊飼いに知らせるために天使が現れます。



天の大群も加わり、救い主イエス様がお生まれになった喜びを踊りで表現します。



羊飼いと羊たちは、救い主にごあいさつをするためにベツレヘムの町へ急ぎました。



「あなたの平和の」を事前に録音した歌声に合わせて、手話を披露しました。
4年生が心を一つにして、主の平和の道具となれますようにという思いを、全校の児童に届けました。

お祈りとおささげ・校長先生からのプレゼント



各学年が取り組んできた実行とお祈りをおささげしました。



校長先生から素敵な本のプレゼント